



2021年4月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月11日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

定時株主総会開催予定日 2021年7月28日

配当支払開始予定日

2021年7月29日

有価証券報告書提出予定日 2021年7月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期の連結業績(2020年5月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	17,680	3.6	772	3.2	865	29.8	419	48.6
2020年4月期	18,347	2.2	748	13.2	666	22.8	282	53.5

(注) 包括利益 2021年4月期 407百万円 (42.8%) 2020年4月期 285百万円 (39.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年4月期	161.88		6.9	3.9	4.4
2020年4月期	108.94		4.8	3.2	4.1

(参考) 持分法投資損益 2021年4月期 62百万円 2020年4月期 23百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	23,509	6,338	26.3	2,385.55
2020年4月期	21,011	6,060	28.2	2,281.08

(参考) 自己資本 2021年4月期 6,186百万円 2020年4月期 5,915百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月期	1,195	2,961	1,796	635
2020年4月期	109	554	548	596

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年4月期		0.00		50.00	50.00	129	45.9	2.2
2021年4月期		0.00		50.00	50.00	129	30.9	2.1
2022年4月期(予想)		0.00		50.00	50.00		28.8	

3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年5月1日～2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	8.6	730	5.5	710	17.9	450	7.2	173.52

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期	2,605,000 株	2020年4月期	2,605,000 株
期末自己株式数	2021年4月期	11,576 株	2020年4月期	11,576 株
期中平均株式数	2021年4月期	2,593,424 株	2020年4月期	2,592,587 株

(参考)個別業績の概要

2021年4月期の個別業績(2020年5月1日～2021年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	13,883	3.4	592	3.2	587	2.3	269	6.3
2020年4月期	14,373	4.0	611	9.1	574	15.8	287	42.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期	103.74	
2020年4月期	110.73	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	20,010	5,242	26.2	2,021.58
2020年4月期	17,652	5,085	28.8	1,961.06

(参考) 自己資本 2021年4月期 5,242百万円 2020年4月期 5,085百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大きく制限されておりましたが、一部では改善の兆しもでてまいりました。しかし、今年に入り、変異型ウイルスが流行し始めて、3回目の緊急事態宣言が発令される等、先行きが不透明な状況が続く、海外でも一部の地域を除き、景気は厳しい状況が継続しております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少や外出自粛の影響で外食産業向けの高級魚・水産物などの需要が減少していることに加え、漁船漁業者の一部は海外への出航ができない状況が続いており、漁業従事者の経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、漁業関連事業では、本来前期に納品予定であった繰越分が計上されたことや新リース事業等の手続きが順調に進んだ定置網部門は堅調でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、水産部門や養殖網部門の売上高が大きく減少しました。加えて、海外での営業活動に制約がでて輸出等の売上高も減少しました。陸上関連事業では、施工工事部門の売上高は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受注の遅れ等が発生し減少しましたが、新型コロナウイルス対策で室内換気の必要性から防虫網部門が伸び、獣害防止ネットや落石防止ネット等の災害対策用途の陸上用のネットの販売が好調であったことにより、前期と比べて増加しました。営業利益は、売上高が伸び悩む中でも、主力の定置網部門の売上高が好調であったこと、出張旅費等の経費削減に努めたこと及び計画的な生産活動により製造原価を抑えることができたこと等により、前期と比べて増加しました。

また、営業外収益では受取配当金や受取保険金等の計上があり、営業外費用ではシンジケートローン手数料や持分法による投資損失等の計上がありました。営業外損益はプラスとなりました。

福山本社での新事業所建設にあたり、特別損失として解体撤去費用を計上しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は17,680百万円（前期比3.6%減）、営業利益は772百万円（前期比3.2%増）、経常利益は865百万円（前期比29.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は419百万円（前期比48.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

[漁業関連事業]

売上高は14,023百万円（前期比5.4%減）となりました。主な要因は、主力の定置網部門の売上高は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外食産業向けの高級魚の需要が減少し、魚価が低迷したことなどから水産部門、養殖網部門の売上高が大きく減少しました。利益面では、主力の定置網部門の売上高が好調だったことで、他の部門の落ち込みをカバーでき、セグメント利益は673百万円（前期比13.3%増）となりました。

[陸上関連事業]

売上高は3,643百万円（前期比3.3%増）となりました。主な要因は、施工工事部門の売上高は、イベントや大会中止などにより、スポーツ施設からの防球ネット等の受注が減少しましたが、防虫網や獣害防止ネット等の受注は好調で売上高は増加しました。利益面では、施工工事部門の売上高が減少したこと、防虫網部門の事業強化を図り人件費等のコストが増加したことでセグメント利益は100百万円（前期比35.1%減）となりました。

[その他]

前期に引き続き機械の部品加工等の受注は低調でしたが、小口商材が増加し、売上高13百万円（前期比266.2%増）となりました。利益面では、小口商材の増加で収益効率改善せず、セグメント損失は1百万円（前期は1百万円の損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ107百万円増加し、14,441百万円となりました。これは主に売掛金回収等に注力し売上債権は減少しましたが、商品及び製品の在庫が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ2,390百万円増加し、9,067百万円となりました。これは主に新事業所建設に係わる建設仮勘定が増加したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ707百万円増加し、11,331百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ1,512百万円増加し、5,838百万円となりました。これは主に新事業所建設のため、長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ278百万円増加し、6,338百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物につきましては、営業活動により1,195百万円増加し、投資活動により2,961百万円減少し、財務活動により1,796百万円増加した結果、当連結会計年度末残高は635百万円となり、前連結会計年度と比べ39百万円の増加となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	前年度比増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109	1,195	1,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554	△2,961	△2,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	548	1,796	1,247
現金及び現金同等物の期末残高	596	635	39

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益は647百万円となり、減少要因として、たな卸資産の増加620百万円及び法人税等の支払額227百万円などがありましたが、増加要因として、減価償却費558百万円、売上債権の減少411百万円及び仕入債務の増加204百万円などにより1,195百万円となりました。

この結果、営業キャッシュ・フローは前連結会計年度と比べ1,305百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出2,937百万円及び貸付による支出124百万円等により△2,961百万円となりました。

この結果、投資キャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ2,406百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、長短借入金の借入・返済による純増額2,014百万円、配当金の支払額129百万円等により1,796百万円となりました。

この結果、財務キャッシュ・フローは前連結会計年度と比べ1,247百万円の増加となりました。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に対する防止策の浸透や有効なワクチンの普及により、景気回復に向けた期待感はあるものの、国内外の経済活動は一進一退を繰り返しており、現状では依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当水産業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により外食産業の不振が続き、水産物の需要と価格の回復遅れ等から、今後も当面は厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループとしては、引き続き「水産業成長産業化沿岸地域創出事業」の制度を利用した設備案件を確実に取り込んでいくとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部停滞していた海外案件の復活、自社のオリジナル商材の拡販にも努めてまいります。

陸上関連事業につきましては、施工工事部門では、防鳥ネットや遊具、アスレチックネット等の受注が引き続き堅調である中、獣害防止ネットや落石防止ネット等の産業用資材の売上高の増加も期待できる状況にあります。

以上のことから、次期の連結業績は、売上高は19,200百万円、営業利益は730百万円、経常利益は710百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は450百万円を予想しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項ありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,353	999,633
受取手形及び売掛金	7,022,686	6,591,084
商品及び製品	4,199,087	4,810,622
仕掛品	683,650	721,236
原材料及び貯蔵品	1,070,355	1,070,943
その他	434,868	295,608
貸倒引当金	△37,295	△47,901
流動資産合計	14,333,708	14,441,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,635,464	1,638,399
機械装置及び運搬具(純額)	582,045	526,897
土地	2,379,316	2,413,209
建設仮勘定	134,646	2,697,445
その他(純額)	214,361	289,998
有形固定資産合計	4,945,833	7,565,950
無形固定資産		
ソフトウェア	42,145	31,755
のれん	211,411	142,317
その他	7,025	7,086
無形固定資産合計	260,582	181,158
投資その他の資産		
投資有価証券	269,052	295,509
長期貸付金	41,832	753
長期営業債権	926,506	919,960
破産更生債権等	198,191	207,352
繰延税金資産	203,458	214,804
その他	500,324	382,681
貸倒引当金	△668,742	△700,300
投資その他の資産合計	1,470,624	1,320,763
固定資産合計	6,677,040	9,067,873
繰延資産	278	201
資産合計	21,011,027	23,509,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,183,637	2,355,514
電子記録債務	1,071,559	991,411
短期借入金	6,166,658	6,653,347
未払法人税等	133,939	160,114
賞与引当金	244,933	248,006
その他	823,678	923,572
流動負債合計	10,624,406	11,331,966
固定負債		
長期借入金	3,412,485	4,940,768
長期末払金	25,769	17,620
役員退職慰労引当金	246,364	249,247
退職給付に係る負債	483,846	496,995
繰延税金負債	105,846	105,223
その他	52,204	29,083
固定負債合計	4,326,516	5,838,938
負債合計	14,950,922	17,170,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,540	510,540
利益剰余金	4,241,411	4,531,553
自己株式	△18,062	△18,062
株主資本合計	6,112,714	6,402,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,913	57,663
為替換算調整勘定	△235,822	△273,789
その他の包括利益累計額合計	△196,908	△216,126
非支配株主持分	144,299	151,667
純資産合計	6,060,104	6,338,397
負債純資産合計	21,011,027	23,509,302

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
売上高	18,347,717	17,680,463
売上原価	14,679,897	13,842,258
売上総利益	3,667,819	3,838,204
販売費及び一般管理費	2,919,286	3,065,591
営業利益	748,533	772,613
営業外収益		
受取利息	19,472	17,918
受取配当金	8,533	95,928
固定資産賃貸料	33,279	37,710
為替差益	-	33,113
受取保険金	31,059	118,726
雑収入	56,876	66,617
営業外収益合計	149,220	370,014
営業外費用		
支払利息	60,852	55,460
手形売却損	12,558	11,342
シンジケートローン手数料	-	69,979
保証債務費用	13,140	-
固定資産賃貸費用	23,219	50,687
持分法による投資損失	23,641	62,975
為替差損	96,731	-
雑損失	1,069	27,162
営業外費用合計	231,212	277,608
経常利益	666,541	865,020
特別損失		
解体撤去費用	-	172,981
減損損失	-	44,458
投資有価証券評価損	132,257	-
特別損失合計	132,257	217,439
税金等調整前当期純利益	534,283	647,580
法人税、住民税及び事業税	244,954	240,075
法人税等調整額	4,819	△19,671
法人税等合計	249,773	220,403
当期純利益	284,510	427,177
非支配株主に帰属する当期純利益	2,082	7,364
親会社株主に帰属する当期純利益	282,427	419,812

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
当期純利益	284,510	427,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,993	18,754
為替換算調整勘定	△52,585	△19,797
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,276	△18,170
その他の包括利益合計	1,131	△19,213
包括利益	285,641	407,963
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	283,561	400,595
非支配株主に係る包括利益	2,080	7,368

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,378,825	510,292	4,091,446	△17,778	5,962,785
当期変動額					
剰余金の配当			△129,681		△129,681
親会社株主に帰属する 当期純利益			282,427		282,427
自己株式の取得				△2,558	△2,558
自己株式の処分				2,274	2,274
自己株式処分差益		248			248
連結範囲の変動			△2,780		△2,780
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	248	149,965	△284	149,928
当期末残高	1,378,825	510,540	4,241,411	△18,062	6,112,714

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△34,082	△163,960	△198,042	142,219	5,906,961
当期変動額					
剰余金の配当					△129,681
親会社株主に帰属する 当期純利益					282,427
自己株式の取得					△2,558
自己株式の処分					2,274
自己株式処分差益					248
連結範囲の変動					△2,780
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	72,995	△71,861	1,134	2,080	3,214
当期変動額合計	72,995	△71,861	1,134	2,080	153,143
当期末残高	38,913	△235,822	△196,908	144,299	6,060,104

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,378,825	510,540	4,241,411	△18,062	6,112,714
当期変動額					
剰余金の配当			△129,671		△129,671
親会社株主に帰属する 当期純利益			419,812		419,812
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	290,141	—	290,141
当期末残高	1,378,825	510,540	4,531,553	△18,062	6,402,856

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	38,913	△235,822	△196,908	144,299	6,060,104
当期変動額					
剰余金の配当					△129,671
親会社株主に帰属する 当期純利益					419,812
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	18,750	△37,967	△19,217	7,368	△11,849
当期変動額合計	18,750	△37,967	△19,217	7,368	278,292
当期末残高	57,663	△273,789	△216,126	151,667	6,338,397

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	534,283	647,580
減価償却費	540,215	558,030
減損損失	-	44,458
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△157,207	41,272
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,352	13,148
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	29,392	2,883
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△589	3,072
受取利息及び受取配当金	△28,005	△113,846
支払利息	60,852	55,460
手形売却損	12,558	11,342
シンジケートローン手数料	-	69,979
為替差損益 (△は益)	40,417	△38,798
持分法による投資損益 (△は益)	23,641	62,975
投資有価証券評価損益 (△は益)	132,257	-
受取保険金	△31,059	△118,726
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,641	411,355
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△380,577	△620,933
仕入債務の増減額 (△は減少)	△373,273	204,249
未払消費税等の増減額 (△は減少)	36,462	4,154
その他	△268,417	481
小計	134,955	1,238,141
利息及び配当金の受取額	27,468	113,467
利息の支払額	△74,986	△66,191
法人税等の支払額	△236,209	△227,184
法人税等の還付額	8,138	12,661
保険金の受取額	31,059	124,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109,574	1,195,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△401,031	△2,937,881
有形固定資産の売却による収入	1,040	152
無形固定資産の取得による支出	△11,557	△6,328
貸付けによる支出	△200,150	△124,805
貸付金の回収による収入	91,119	141,233
定期預金の預入による支出	△11,000	△11,000
定期預金の払戻による収入	11,000	11,000
その他	△34,277	△33,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554,856	△2,961,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	18,693,543	33,064,295
短期借入金の返済による支出	△15,394,351	△32,374,543
長期借入れによる収入	1,100,000	3,240,000
長期借入金の返済による支出	△3,692,749	△1,914,780
シンジケートローン手数料の支払額	-	△69,979
配当金の支払額	△128,494	△129,099
その他	△29,481	△19,451
財務活動によるキャッシュ・フロー	548,466	1,796,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,547	8,215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△139,511	39,280
現金及び現金同等物の期首残高	728,428	596,353
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,436	-
現金及び現金同等物の期末残高	596,353	635,633

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、当社取締役会等において、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、製品・商品・サービス別の販売体制を置き、取り扱う製商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業展開をしております。

従って、当社グループは事業部門を基礎とした製品・商品・サービス別セグメントから構成されており、「漁業関連事業」及び「陸上関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品・商品・サービスの内容は以下のとおりであります。

漁業関連事業	製品	無結節漁網・有結節漁網・縋網・刺網・繊維ロープ・養殖用金網・防汚剤
	仕入商品	漁船・漁網付属品・漁労関係省力機械器具・飼料・餌料・小魚加工機・製氷機・養殖用稚魚・水産物
	サービス	定置網漁業等の漁場指導を含めた経営指導
陸上関連事業	製品	無結節網・有結節網・防虫ネット・産業用ハウスバンド・ロープ
	仕入商品	農業用資材・培土・防虫網用アルミ型枠
	サービス	上記陸上用網に係る設計・施工・販売

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	漁業関連 事業	陸上関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,816,625	3,527,467	18,344,092	3,624	18,347,717	—	18,347,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,816,625	3,527,467	18,344,092	3,624	18,347,717	—	18,347,717
セグメント利益又は セグメント損失(△)	594,443	155,119	749,562	△1,028	748,533	—	748,533
セグメント資産	17,726,470	2,412,256	20,138,727	21,812	20,160,540	850,487	21,011,027
その他の項目							
減価償却費	498,803	27,482	526,285	282	526,568	13,647	540,215
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	449,134	24,536	473,671	—	473,671	—	473,671

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント資産の調整額は、全社資産であり、主に親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております

4 報告セグメントごとの資産に関する情報

当連結会計年度より、ヤマグチ株式会社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「漁業関連事業」のセグメント資産44,649千円増加しております。

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	漁業関連 事業	陸上関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,023,418	3,643,772	17,667,190	13,272	17,680,463	—	17,680,463
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,023,418	3,643,772	17,667,190	13,272	17,680,463	—	17,680,463
セグメント利益又は セグメント損失(△)	673,340	100,611	773,951	△1,337	772,613	—	772,613
セグメント資産	19,886,101	2,717,680	22,603,781	68,104	22,671,886	837,415	23,509,302
その他の項目							
減価償却費	485,371	59,528	544,900	282	545,183	12,847	558,030
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,905,921	299,927	3,205,848	—	3,205,848	—	3,205,848

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント資産の調整額は、全社資産であり、主に親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり純資産額	2,281.08円	2,385.55円
1株当たり当期純利益	108.94円	161.88円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	282,427	419,812
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	282,427	419,812
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,592	2,593

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	6,060,104	6,338,397
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	144,299	151,667
(うち非支配株主持分)	(144,299)	(151,667)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,915,805	6,186,729
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	2,593	2,593

(重要な後発事象)

該当事項はありません。